

農業大学校だより

NO.57

平成28年3月4日
山形県立農業大学校

〒996-0052
新庄市大字角沢1366
TEL 0233-22-1527(代)
FAX 0233-23-3119
HP <http://ynodai.ac.jp/>



従事者から経営者への意識転換



山形県立農業大学校

校長 大江 栄悦

農業に就く際、経営を継ぐと考えるか、産業として経営を発展させると考えるか。道はここで大きく分かれます。前者は責任やリスクが小さく誰かに頼りがちな従事者の意識です。後者は最終責任者たる経営者の意識です。

今、農業に必要なのは従事者から経営者への意識転換です。そして、従事者を引っ張って産業としての競争力を持ち、地域の発展を担っていく存在です。皆さんには、是非、経営者意識を持って研鑽してほしいと思います。

では、経営者意識をどうやって持つか。私は、困難な時でも誰かが何とかしてくれると楽観する姿勢ではなく、自ら何とかするという強い意思を持つことが起点だと考えます。その強い意思が責任感と行動力をもたらし、努力の積み重ねや信頼につなげ、リーダーシップ豊かな経営者を育てるのだと思います。

2020年の東京オリンピックを視野に、食の安全に関して国際的に通用する規格を認証する動きが本格化していきます。つまり、農業の生産基盤が国内仕様から国際基準に変わりつつあるのだと思います。このような変化の時代を受け入れられるのが若い力です。若い力が経営者の意識を持ち、競争力をつけ日本農業を発展させていくのです。

農大を卒業することは、穏やかな内海から未知の広い外海に船出するようなものです。2年間のトレーニングの成果と自信を胸に全力で羽ばたいて山形県を代表する経営者に育ってください。2年生諸君、卒業おめでとう。